

くにたち

「風」とは、物事の成り行きや習わしなどの意味もありますが、日常の多くは空気の流れの方を言い、肌で感じた時に「風が吹いた」とか「風が出てきた」などと言うと思います。肌で感じると言っても、北風などのようにその向きを表すものや潮風のように吹く場所を、そよ風や大風のように風の強さを表すもの、さらには春風や秋風のように季節を表すなど、風（空気の流れ）と言っても我々の生活の中で様々な言い方や使われ方をしています。

今月号ではこの空気の流れに対する取り組みとして「風洞」と題し、米原に大型低騒音風洞が完成して15年目を期に特集を組みました。風洞とは簡単に言うと「風を人工的に起こすトンネル状の装置」となりますが、この世界最高水準の規模と性能を有する大型低騒音風洞の歩みや成果の一端として鉄道以外の分野である旅客機や鉄道における空力騒音、パンタグラフや車体に関する空力特性およびホーム上の人への影響についてご紹介しました。これらの技術開発や現象の把握や解明には風洞技術センターの役割は非常に大きいものであったと思います。

今回の特集記事や掲載した内容が鉄道事業者をはじめ各方面の方々のお役に立てればと期待しております。これからも我々が行っている研究開発の成果をできるだけわかりやすくご紹介していきます。(M. Y.)

■ 監修責任者

熊谷則道

■ 編集責任者

西江勇二

■ 企画・校閲

饗庭雅之、坂本義雄、山本克也、早勢 剛、遠藤三郎、富岡隆弘、近藤 稔、杉本一朗、重枝秀紀、吉田 眞、佐溝昌彦、福田光芳、野末道子、上原元樹、植木健司、菊地勝浩、藤浪浩平、高橋紀之、中山康二

■ 編集・出版

財団法人 研友社

次号 ■ 平成23年9月号 ■ 予告

特集：実験技術

インターネットのホームページで、様々な最先端の鉄道技術の紹介や関連する情報を提供しています。

■ 鉄道総研アドレス

http://www.rtri.or.jp/index_J.html

■ 研友社アドレス

<http://www.kenf.or.jp>

■ 記事に関するお問い合わせ先

総務部 広報 電話 042-573-7219